

トピック3 ユニバーズルを使用した栽培方法への提案

25kg

ユニバーズルは高品質かつ低価格な液肥。それぞれ水に粉末を溶かすと名前の通りの色に着色されるので肥料を与え間違える心配がなくて安心です。三要素のほか、微量元素とマグネシウムを含みます。しかも、鉄、銅、亜鉛はEDTAによりキレート化されています。3種は互いに混合しての使用も可能。鉢物、花壇苗はもちろん、切り花の点滴栽培や土耕栽培でも低コストで溶けやすく使用しやすい液肥です。



◆ 成分(%)

	窒素全量	内硝酸態窒素	内アモニア態窒素	水溶性リン酸	水溶性カリ	水溶性苦土	水溶性マンガン	水溶性ホウ素	モリブデン	亜鉛 EDTA-Zn	鉄 EDTA-Fe	銅 EDTA-Cu
ユニバーズルバイオレット10-10-30	10.0	7.3	2.6	10.0	30.0	3.0	0.040	0.030	0.001	0.010	0.060	0.010
ユニバーズルブルー18-11-18	17.0	9.6	7.3	11.0	17.0	2.0	0.040	0.030	0.001	0.010	0.060	0.010
ユニバーズルオレンジ16-5-25	15.0	10.1	4.7	5.0	25.0	3.0	0.040	0.030	0.001	0.010	0.060	0.010

■ 鉢花生産(鉢上げ後)での使用例

作物	施肥窒素濃度	おすすめの液肥
ポインセチア	100~200ppm	ユニバーズルブルー、ユニバーズルオレンジ、仕上げにはピーターズ15-20-25がおすすめ
ユーストマ	50~100ppm	ユニバーズルブルー、ユニバーズルオレンジ
リーガースベゴニア	80~150ppm	ユニバーズルブルー
ニューギニアインパ	80~150ppm	ユニバーズルオレンジ、ユニバーズルバイオレット
ミニバラ	100~200ppm	ユニバーズルブルー、ユニバーズルオレンジ
ガザニア	80~150ppm	ユニバーズルブルー

※ここで紹介したものは一つの例ですので施肥量、施肥濃度については必ずお試しの上でご使用ください。

- ①カルシウムを補給したい時⇒CaO16%配合のピーターズ 15-0-15 を適宜使用しましょう。
- ②同じ液肥で多品目の植物を栽培したい時⇒プロミック錠剤などの置肥を利用する方法があります。プロミック錠剤は様々な成分があり、12-12-12、8-12-10 や 5-10-10 など栽培ステージによるやリン酸、カリが必要な植物に利用できます。出荷後の肥料切れによる店頭ロス対策としてグローア錠剤(低コストタイプ)を利用する方が増えました。



■ 切花の液肥栽培での使用例

切り花は大まかに分類すると以下の4つの肥培管理パターンになります。同じ花であっても栽培様式が多様多様にあるので、養分吸収パターンも同じとは限らないのでご注意ください。

- I、連続吸収型(バラのダラ切り、ガーベラ、カーネーション等)コンスタントな養分吸収に合せ、標準濃度で管理。
- II、二山吸収型(バラ一斉切り、キクの二度切り等)採花期前後は濃度を下げ、その後はまた標準濃度で管理。
- III、山形吸収型(夏秋ギク、ストック、アスター等)養分吸収の低下する着蕾期ごろから採花期まで濃度を下げます。
- IV、尻上がり吸収型(かすみそう、ユーストマ、スターチス等)初期は生育が遅く、養分吸収量も低いので、中期以降に濃度を上げていきます。

	タイプ	灌水量 (ℓ/10a/day)	施肥窒素濃度	おすすめの液肥
輪キク	III	1000~3000	40~100ppm	ユニバーズルブルー、ユニバーズルオレンジ
カーネーション	I	1000~3000	50~200ppm	ユニバーズルブルー、ユニバーズルオレンジ
バラ	I	1000~3000	50~120ppm	ユニバーズルブルー、ユニバーズルバイオレット
ユーストマ	IV	1500~3000	70~170ppm	ユニバーズルブルー、ユニバーズルオレンジ
アルストロメリア	I	2000~3000	50~100ppm	ユニバーズルブルー、ユニバーズルバイオレット

※ここで紹介したものは一つの例ですので施肥量、施肥濃度については必ずお試しの上でご使用ください。

- ①植えつけ前の元肥には、温度や灌水量に左右されにくく、蒸気消毒も可能なマグアンプ K がお勧めです。
- ②カルシウム欠乏予防やロックウール耕などではピーターズ 15-0-15 を組み合わせてご使用ください。

Ⅷ ジプソフィラのユニバーズル SW - Ca14 - 7 - 21 を利用した

【株締まりを狙って液肥を選ぶ+カルシウム欠乏（葉先枯れ）予防】

栽培後半になって株のボリュームがでてきた頃、ハス口での上部灌水の水圧で、株が倒れてしまう品目にはお勧めします。その為、灌水をチョロチョロでしかや灌水に時間を取られて作業性が非常に悪い。

カリ高+カルシウム効果で株締まりを狙う。この肥培管理は以下品目や、Ca 欠乏チップバーンがでるダイアンサス系植物にお勧めです！

■栽培暦：4月上旬播種→5/12：3寸鉢定植→5/26：摘心1回目→6/3：摘心2回目→7/1撮影（出荷直前）

■施用暦：①ピータース 20-10-20PL 100ppm（2000倍）灌水2回に対し液肥1回頻度

：②ユニバーズル SW カルシウム 14-7-21 100ppm（1400倍）灌水2回に対し液肥1回頻度

